

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-07-02

能口伝之聞書

リタル工後ニ不遠ヤカスヘシ

一 重要此ノナトリニテ中入ニトムル後ヒテ洗工不

要ヤウニスル

一 ウトウハタラキノ後ニシタルシニテ破ナ

ルニシテモ是シ打テ是物ヲシズ

似テウケトハト、
フミ大落ヤトモク
カケルナ

一 ユヤキリ只ハミニシイトニトミテ立忍 定盛ニ

全執也夕付ノカキヨト思ヒテ立盛

一 道明寺後ス放ノワキニミカクカクノ中ニモ

リ天母ト名露^{ヨシ}ノカケテ入^{ヨリ}年トヤリ

一 ス田川所ノ物フタヒワキワキ上^ス面ノスミシク

舟後ノ前ノムカイノ柳ノ皮ト云テワスル

一 三井寺フタヒ前^ス面ノ中ニモクムカイナス

シ前^スヘリチ鐘シツク

一 アフキアミ中ニシノツクルエノサキシフミヘテシ

綱ヒキシコスハタラキ中ノコト

一 アイニヤウノ猿西ウツムクニウチンハアシヌク

一 一セシ中入大ツミカニフウタスニカチコヘシツク

ツル

三ノト

一 松風ウニトモ思ハスシテヤヤ是相ヲテフニトモ

一 ツナト松ノナワカシヤナカスニ

一 三ノト三ノト神祇也ラヌニ神祇神祇ナニアイシ

ラウニ

一 松行柳 キリナヨリノ海ナカスニ

一 シラヘ田代ノフミ次シハカ鹿丸郎ニカ橋ドを祀

上ニ神不動ノ由有テ在事ニ更ニ言周ニ内尋アリ是モ

云芝根チ銀也ハ實ニ身内セウ之候云云ニ由テ

ニ有佛也ハセヨ上ニ見ハカヨハニ云云根田代ニ候

不潔ニ由テ候シテ

一 カイマハシニキハ余ラニケイ治身ヤウニキ

一 細道徳冒ミキ

一 カイマキ 細道徳ハ下ニテ云ハアラス

一 シン序キ

一 中々徳縁度カウラシトマカシキトウニセウ

一 ユヤ松ノ根ノ京長ハウハセキ寺日ツ

源氏信養 ヲトワ小町

一 中々大長男信養人

一ニ反申す一フミトムル世イ早強ノ起松風ナト

一五五ノ二部 紫雲山房

一
道

一
店要註

一 楊炎妃 テニクロニキ板ツヨヤチイニヤワイ

ノ其地ヲ内ニキルソト云テワリテハフモ愛デナシ

一昨より多く寝たハヤシ

一音ハ舞ナニ白髪ノ舞功ニ外有ツ

カフニ此年春に於てノ聲文也

一 神シカヘミテ云

一 七トル梅子ミヤウくすかりハ
シサハハカキハ

一キラスるがニラ拍々ハツハツ喚ウレん

一 キルカミラ物ミラスちギリンハテノカミラサ

一 座敷を下にワルブセスに必ず書添へ内ツトアイシ

ライオンタイハイシメイトムル言ぬキリ

老ノ世ニシテハ時ヲスカイサニハ世時ノ前ニシテ

クニアクニシハライト
シ右ハヤリテアイミラフ

一ツイハイシカと病ヲ来ツオセテ之ニ盡ス心ニ力

クルにうとすれ昔もあひまふにんし何れは
大お源にすう

一 決意ノヲ カミラオスハ地ハ掌キ然ス心

一サハカセ、フ カニラキサニホニカス心ニ

一 男ハカセノフ カミナキカミナツキ、ス心ハハクセ

床一ノ中ニツミクル心アリ
セノ中ノ女ハカセ

一 律ノフユヤセニユモニテ心ヘシサハカセイ年ノシ

トユカセ^上家カツラユクナ同セナルヘシ

一七、張氏盛久同三之服業、虎送

ハヤハツ（ニ）イツシヘモヲタル（ニ）

一鬼ハヤミニキルコトアリ
 晒スノハタニスナシ
 ルウツタヘトフシワラクハ
 存タル者秋米カ壺ニセ

救急アルミスト

一キサミフ四五スキアリ五ハシハニニニシル

一カミラツギ、サスナ、ウツミツ、ハス、マ、ハ、ミ、ア

而上下甲子禁方六神十二帝十八石略少キ也スベシ

一キリノ舞ハ袖ノカミミセナシムルニサライ

クルにラとナを合するに何れも可

太史公云

一 決意ノヲ カミラオスハ地ハ掌キ然ス心

一サハカセ、フ カニラキサニホニカス心ニ

一 男ハカセノフ カミナキカミナツキ、ス心ハハクセ

床一ノ中ニツミクル心アリ
セノ中ノ女ハカセ

一 律ノフユヤセニユモニテ心ヘシサハカセイ年ノシ

トユカセ^上家カツラユクナ同セナルヘシ

一七、張氏盛久同三之服業、虎送

ハヤハツ（ニ）イツシヘモヲタル（ニ）

一鬼ハヤミニキルコトアリ
 晒スノハタニスナシ
 ルウツタヘトフシワラクハ
 存タル者秋米カ壺ニセ

救急アルミスト

一キサミフ四五スキアリ五ハシハニニニシル

一カミラツギ、サスナ、ウツミツ、ハス、マ、ハ、ミ、ア

而上下甲子禁方六神十二帝十八石略少キ也スベシ

一キリノ舞ハ袖ノカミミセナシムルニサライ

シテミルヲナシハヨリコエガミニ
所用ニシシメテ
テコヘシラクルフズナライニ

一廿年ノ浮沈ヲ才ヲ習シ

一、ワキノ神ノフ、言極令乳、思ふ古本ニ是ノサキ乳
コトクをねハ、石略ミツカニハ、シトツヨクハ、ヤミテコツ
馬ノふネ、ハ、カリタルコトクシモミクム。

一 ヲスキサミラフハル字ハナルノ字ハル

一才三好一好三才

一 子ニユカニラエニチカニラキノ中ニツクアリワセト

耳、三カキ申人、ス、ツ、タ、申人、御、三、ア、ニ、シ、タ、ム

一
花
香
風
月

一 七トル拍子ヲ是ニハサトカキ申サストカセ（く）テ

人ニクテニアルミシクト御
セイセシノミミヲタ申上

秋くカダイヤト、ナトミ今日ミテハ不傳人我中

Handwritten text: *Handwritten text, possibly a signature or name, written vertically.*

一 ストヲユウシイサハセノ体ソ害ハカセ

一ヶニナイノ男ノス味男ハカセニアニスクハカラス

一 佐々木、橋本、廿八日、三ツ子、男、
生。

三ノノノノ

一廿ノ出、カミラハ廿ハカセ、地ハ廿ト害トスル

一 硯石ノ廿ノフ。シトスルカセテ、ミテ、ハ、ミ

一玉爲は丹ハヤシ心キヤシヤニウキクト心シ

女カセミヲサスカクルニスハ我^上素ニスクヘカウス

後ニカケリナトアル曲舞トウタイトノカミラ

キレス心ヨカルヘシ

一、ハツルトメカシラキル

一、少語の極、清才の心は、八ツ七ツ月、ナルヘシ

一序ノ諒心ハウキテモシシムル

一ハ舞のハウキテ心ミツムル

一ハヤキ一セイイモハクヤシミツムル

一ツカサレ一セイチハツカニシヤムル

一 曲舞^下事^上ハシタキトツル^上三^上ハキシツキニハ

(タテアル) (ミ) ハイツシモ 進ハナル (ミ)

[illegible]

テミタルキツニツキタルキツクワヘシ

一 眼ハツミナリセハカタスキナリ

一ム子ミウタニシおもきオノ和^ハリノ

一 今前テウタセソ人ナホナキニ成セウシテハ

シ折じ

此のツシ振へ女も果さまり私ノ腹中を別處
 申すも、あはれと後中、以故ノ心、我ハ別處に
 あるく然る處ノ習俗も、あはれとて、是月七等
 ハ、痛きものや、うかうに、さして、行く

享銀五年正月廿日

人龍多郎

總式五

竹の葉すこぶカクト同止ね得申はしとてふかき

不為危乎 文治形 彰 德以文 以武 彰

一 シテ 席 ハ 正 ニ ナル ヲ クリ テ 合 ハ せ リ 申 ス

タイハイ帝ノマトシニテ序ノリマウル能ノキシ

三ノ前ニ臨新ノ前ニテ也市ノ前ニケモ力ヲニカサニ

テスにナホノシロミキヤウミは合ん

一 神ノタリニヤウヘシメ在

一 神位石版ノ前ニ及ノヒキ上ノ向ノスミニ及メテ

ノ中座ノ向スミヲセリ三件如所示ノ

一 14 傍そにルヤウ廟ねさるゝてハル

一 14 和名ノスヘカ、ル五廟をミカマリ、其後タイハイシ
ハカノチリニ合テスル

一 14 序ノ内ニ廟シトテハル

一 14 月もねチノコウスミカクル程ニウツムケテハ

一 14 日廟先ニ同シ付ルニハル

一 14 日年ミカ、ル五廟をミカマリ、其後タイハイシ

一 14 月もねチノコウスミカクル程ニウツムケテハ

一 14 日廟先ニ同シ付ルニハル

一 14 タイハイ右ヘキシヒロクル所、左ヘキシヒロ

クル所、左ヘキシヒロクル所、右ヘキシヒロ

一 14 ラスキヒロクル所、左ヘキシヒロクル所、右ヘキシヒロ

一 14 所ノミカ、ル五廟をミカマリ、其後タイハイシ

一 14 ノル廟ウミテハル、其後タイハイシ

一 14 廟シトテハル、其後タイハイシ

一 14 寺ハル、其後タイハイシ

一 14 寺ハル、其後タイハイシ

一席

7

ツニキフミイタス カテヌ

サテヌ

7
F.

ト、トハツニサキニ

母を以て必く人曰ふにしにカリトメナ

一 類政キリシトメ廟ノ先下ヘナニテスデ右ノキデ
スロ右ノキスワシ右ノミテレテルノ方ヘツリ
カリシメツクハイシトムルニテ必常ニテノ指子
ニツクモシスロヒレシトルトム物ニヨリテ中ニシ
九花ニ吉

元龍書

一、体、入セキリノニトモモ、陰ハテ、少ノヲ、重テ、入吉。

一 神力(不事)方解い下ふ旅神をシテ云々

一 五五七テニクワレトミ袖ノカニ時我カシニツノテ

ハツス吾子ニテハオトキニクキ

一 年振我カノハキヲシリミナカハチハセニカリテモ

已於十三前後（出）時已各入

一松月立別カッヤノ立リ又上座ハムク内ウシノカ

アオクリテハハシホナリテ去

一、次、五、雙、明、夕、几、狼、下、者、施、七、字、長、三、夕、

一 師ハ云キリ共愛ノ後トツグハウテリシト
病耳ノ中ニテツト云ハスナカニヤたノ神多
ヘカクル事ト云病たヘモル不才力ヘミセ
ル

一 戸へはタレを頼オモカヘリセスメソノニ、ねんてスル

文選

一 シテ治メタル所ノ方ハムキテモサシ小治上西へム
キテモ小治ノ末打返テキテモアアラヌ内
ヨリ、少シ延てリル

一曲終了スヘミルヲヤクニトニヨウノ如クイハレドス

一月シモニロヤ井サノオヘムキテイニヤウリツクヨイ
テ席ミカル所船と云

一、シヨ内ヤアハアノ字ニ付テ是拍子フムワト
ト、地トノ字付テワミサキニテフム

一、¹⁷ニカニ¹⁷時¹⁷府¹⁷シロメヨシヲ又¹⁷上¹⁷テミル

一 卷之初セウ篇不持扇也

一、レシノレヨタイハイヲメサセ、スツノマニ、ニワリテ大
鞍ノオミテ、ムササビノハ、上テ、シロ、ス、時、雨

ノオハノヲキタルマタニワリ合也

一 乃々能一セイハシカリニ云カニ小龍ワニニヤクハ

セー云

一 月ナルニ今キカラヘテハ折返来ヨリソトアキニ
ワレノミ、モイル又ニテノウシロリニテノ方モ立

一 二月ノ雪衣席祀ソトニテセ内ニテセヒセウレソノニ
ニ角ヲ上舞ビス神ノクリトラヌ

一 クレハノ外多クタイハセヌソノミ、廟上テ祭ル

一 男ニ来タウケメ毎冬ノモ留ノミマシカソノ心也

一 レテヒタレウシロソハナレテキル

一 ヒタレ舞キ又祀ウナコニサカヒモスルハスワウ

ハカヤウミナウス

一 隅田川作物ワキノイサミ云向ノ柳ノサト

ミルアツニ 毎サミ初ヨリル商人ヘサキ舞シ

ル者何年還来ミカタルハト云ヒタカツホミテ効

進来還来スルワキ舞ヲ子テモミタルト

於キミテ何ノミル所サカ作知進来何ミヤ

イリミ云モミ云町モミ云云云ニテハトナシハミソ

テ、云キ云トハミタラミタル

一 同寺山所、ハミテナホトテ、冬ニ一羽セリ也。

一團風 スハチハツトキヘタルハトセニ欠ルニカタキイ

ノナシにヨリキヘテウスヘケシ是じヤワニシとシ上テ
 小ななフミタルシ者何不高ミタルアヤナリ也シ
 ときニスナヒテフム吾トシ

天正廿五年二月

一 小教、地シツハウム、ニ、アイミライ、アリ

21

一 船シリカニタレトモニアル時ハアルキヨキナキ

一ノ
タハ河ニホニニクキレツ子ニシロニテハヤカテ庭シル
ユヤレバカヤウニハ内イトニシタニナリアウミナシ

ニニフルニカフリアリ

一廿ミタルヒサシメテシクミテカ、元時アルヘ三月
 厄ノキクヒシ石ニテニキリテヒサニシキテ似合タル
 時アルヘシ、ト老ヨリニワヨリタムキハミクルニカ
 ヘシ老女ハ似合シ

一 そねつ下キリノハタラキスハタラクニヤキシトリテ
クフスギおへツヒニフリカヘリシニタメクハタラク

一 二トワキシニテヤカテミトムヘシ久ハヤキニ
二 三トハ前ノ年ノ内四ニトケワキシ子々々ニ
三 四トハ新ハキノ活方なりニテニム言ウニ意

九月花母後田なるニヤ

一 同寺ノシイサメソノナカミツレハホメニカカリク

スルハヤスハ内ノミツニテハ

一 松風ムラリメトメヲシニヨリ

一 是ヒヤウミツニキキヒスニツヘテフムキヒスツハ

ハキキ足ヘハシクヲヨクアヘハサミ人ニテモヤ

一 親世ニカハ花傳去

一 二トワキハ竹存去

一 三トワキハ物ノ内シ神神トナシテニシシスヤリ

四トハ前ハ注ナク入タニハ作ルノ内ニ不ヘトマ

シトトヤリ又扇カホミカサスフセスニニヤカハ我神

一 五トハハミトハルヤナイカ、ツラ作ル物ノ内ヘテニ

フセスニ注ル柱ノキワシトシニハルニミトノ内ヘ

クハミテ扇カフルフセスニタルフセスニヤ

一 楊梅花 綿木ノ下ノ同葉

一 弱以たへ死かしうへかまりてニトムルテニラサレ申へ

一月たへ上テウシミテシトムルフハルト也

一、主子天へ三三不合

一 小シユルリトセコニカニセメ

一 日
シカミ、カワカニ、
（前）

一 奔下内二セイ、内をテフミトムニシテ、流ノ内ニハヨシ

一 柿ノ子 漢ノ内ヨスルカミツシ

一 漢ナニトナク耳ニアタラスヤウニメツヨキヤウニ

一、^イフ、フ、リ、ヨ、セイ、ニ、ア、フ、ヤ、ウ、^ウ、^エ、^オ、^カ、^キ、^ク、^ケ、^コ、^サ、^シ、^ス、^セ、^ソ、^タ、^チ、^ツ、^テ、^ト、^ナ、^ニ、^ノ、^ハ、^ヘ、^ホ、^フ、^リ

梅子丸

一 夫ニミ^カカリアリキヤウツ子ニハナミ^同ミ^カ插キアリ

シトシカク揃り打込ス六仙合嵐平振落

[illegible]

一 翻て天物前クハカニラノ上ミトモニキルフセアルミ似ヒ

三才

一 意ヲリテ 漢ヤウカハニシ小座敷ニテ 文時ハイカ

ミエスリト返レナクヌカガミテハ念シ入張ノ

1871

一井筒はアタリト名ニツノラススラト安也

言抄太史にヤト云ツワノ也

一ツウノ面ツカニニイ似合スルツケタカキ也

一太へニ豆相子ニサタカ・メテフム然力ニテフム若ラ

トニカ名梅子根ノト口トウニサキ舟テキヒスニ

フム也

一中人ニモツニサキニテ一フムコトモアリ

一クトキナヘタルラニヤシ然然利ニナユル也

モ世分ト

一女月ニキラカニ新ツウラハヤル也

一ニテノニラコト云ふ不ニ言然ラ必は修文カケ

ニテ道冥ハイ・ウニサナキヨニ言ハル人ノ

云ミモケレハニテハ利ニフナルニラサレフ

ツニ言トテ順ニニタルシ又然ルニモ後ニ言

ケレハユウケル也タヒニ言ニテノニ

ラコトワキンニラコトヲ別ニイヤウア

ルヘカラス面カケテハサモアルヘヒタメニオ

リムアルヘカササル也

一 松山南ニミエニテノスルガサヒト吾考ノ不出ト入

二 玄玄曰海土高二千外遠夕陽變之海土ハ全ニ
玄土ハ高二ハ全ハ大コ一ツキサミヨニ脈ク心ヲ

一キズニホサツホトツヨニワキノ株ナトヨハニ
一羽衣ノ衣ヲトリテヨリハニミツカレル迄
おハツリニヤウヤ

一 疎騰目ヲフサキテカキニシスル也是爲流

金一子

一 物長セシホツノ太ク親也ニカキル他ニナキトセ

於奉教寺に於て今日書信を三所宛に贈其より
お良しワタセラレし今由パール由春日を又面白
殿此等より云々パールトヤパールノ信ノ後

第ニシカス相國寺ノセニホウノ太鼓鉢ノアイ
タルトヤ折ヤウモサウモトノ

一 玄玄 玄曲 玄水 玄德 玄心 玄日 玄十 玄ク 玄く 玄ツ カミ

ノミテ云々又云々

一松山内ニミコニテノスル者サレドモ考メ不出ト云

細心ニシテ

二 玄玄曰海土高二千外遠夕陽變之海土ハ全ニ
玄土ハ高二ハ全ハ大コ一ツキサミヨニ脈ク心ヲ

一キズニホサツホトツヨニワキノ株ナトヨハニ
一羽衣ノ衣ヲトリテヨリハニミツカレル迄
おハツリニヤウヤ

一 疎騰目ヲフサキテカキニシスル也是爲流

金一子

一 物長セシホツノ太ク親也ニカキル他ニナキトセ

於奉教寺に於て今日書信を三所宛に贈其より
お良しワタセラレし今由パール由春日を又面白
殿此等より云々パールトヤパールノ信ノ後

第ニシカス相國寺ノセニホウノ太鼓鉢ノアイ
タルトヤ折ヤウモサウモトノ

一 玄玄 玄曲 玄水 玄德 玄心 玄日 玄十 玄ク 玄く 玄ツ カミ

ノミテ云々又云々

一 玄香あり極楽にやうに云ふ力に又花入
セイン心持りタラヤカナル心

一 ヨシソシモイトワシヤノヤキ年ノ松セツイ

ニ松クナヌ他今ツル前切ラ不切ヤウニ云

一 太コサスぬ拍子ラム子ニ持又忍也

一 神永常ニ極拍子太コサス

トソハトラトリニヤサムト云ウシノ
拍子也

一 シヤウヨク曰長後コトシニリタル者之を損

トナリニサタル者也 云ねニカクヤニテシ

ミニコシノミテシ向タル時をハ子ヲセトリ

カヘス心ヲ持ヘシ此方バセヒカヘスニ云トス云

也ト云タルトヤ

一 モンタイノ道二人譲取イキ一ツキテ譲ツタ

一 一子ハ一ニ子引

一 太コサスぬ云々 出のりて水端

の度すなり也

アハツヘシ

カキクケコ

ヤヰユヘヨ

ワヒフエ

右ノカナハ使フクニトキハ古ヲ云フモ

ナテ云ク重ク強クニ時ハ古ヲトノ

ハ根ニ付テ云ナリ

サシヌセツ

タナツテト

二十又云ノ

テリルシコ

右ノカナハ使フクニ時ハ上ニ同ク右

ヲ云フモ云ナリ重ク輕ク云時若

クサシヌスヤウニメ云ヤ

ハヒフヘホ

ニミムモ

右ノカナハ使フクニ時ハ口ニルシ云

ハ云フモ云重ク強クニ時ハ唇ツツ

一 馬ウリテ次ノ字ハ後ハ時ハ又ハ人オノ
口ノ中ニテ成セサレハ弱クモコヘテ次ハツ
ケニクモナリト

ヤヒヤウシ

おヒヤウシハ所爲指子アアコト成ト書
大丈ニ相傳ニセシヨリハ何ハ得

ワスサ スカニラモ

タトタ

イハテタニ

タニ

ハスハルケキノ意

ト

不ハ

上座敷火小の事一也

ヒツトリ シクリ サタニラスヨキヤシ

一ヨイヤイ ニコイヤイ 又ニサグサ

一塩ノ赤大ツ、ミツツ一ミノトムル

一打ヤルカシラノ流ヒツ付テ

一ヨシノ事ミシカクカクシラ イトクサ

一あハシカノウラナシハバノ替ナカシラ打ヌ

カケン也

一ニヨリテ儀アイラノ事人々をノリ

一太敷ツ時大故打ト タ、タ、タトニツヤ

一扇ツ云云夜高ユヤミ打アサキヤ

一松見ハヤシノ時コレヲミルタヒイヤミノ事

トヤミ、ミツクミサグサハ物ヤノ故打ト

事ト云

一扇拍子ハ毛右目筋ノ傳也

野ノ宮

ツラキモノニハサカニヲモイハテタ

ハタ

言すすやウ光

松ム

ニニキ

クレハ ^{クハ}ウノハ

フナト

テニコ

花松 白テク天

カヨイ小折

ウトウ

十二ハ ^ニヒムロ

アコキ

ニハニ

矢三カモセイ王母

カンタニ

弘安慶

田ムラ トモ長

春エイ ゼリク

ミナモリ ヤシ

ハチノ木 ニニキ

タノリ カ子ヒラ

夜ウテソカキヨ

ツ子ニササ子モリ

アタカ

ニツ

キツ子 ヨリニリ

キノ

皇帝

三

ユヤ 松風

アシカリ 唐船

テイカ ノミヤ

小カウ 西の橋

ウ子メ ハセシ

松の柳 蟻トラ

エツ子 サツ

トタル ヲホ

ユウカホ ヤウキ

ニ子ニ居士 トウカニ居士

百華三井寺

セイカ

クダ天ク

サクラバハンサ

大工

道明寺

陽田川セミ丸

アヤノツミ

衣ノヲモミ

ハナタニカシバヤキ

松ノ山カミ

ウカイ

ウキフネタニカツラ

ノモリ

セウクン

セイカ

山ウハ

紅葉指

セイカカキツツメ

セウセ石

以え

アサカウカツラキ

ツナ

アイノム

羽子

カナワ

春日寺

クツタ

アミ

ニナチ

春日寺

クツタ

フミ石

カナワ

春日寺

ニ

十二

開寺小町

ソトハ

佛入

アムシラ

セウタイ

キヌタ

シハステ

ニカキ

分ノ高

治承三年

梅ノ之

大工

二ノ国

梅ノ之

大工

ナニ

大工

大工

石内佐ノヲズカミラフ

たりて

キ、スリテ

きんぎょ

ばらばらに別れて
あつたわやうに
エスパーノミカハ

タイハイナニナニタイハイニナニ付テ

ト、府元時入ト、出之者ナシ 初出ニクハニ

一にやうきふくふり、とむしとてんふ
田ナク

フナミタシワヘテメクウスモノ也

一 此ハニホウノミヤウニナトフシマリル

一、主 有 三 名 ノ ミ キ ア フ カ ミ ア カ ル ム ク リ

一⁽¹⁾ ミノフリニ不念にヤウシメ火シモ人へミ

一 アヤミミ白カミヲ唐カクリキス

一、イタナキ、ハナハナ、ヨリ、ウキタナテ、抱きシモ。

ブム後、五月トヤクハシハノリカヌル

三(一)カ、リ、日、

一 宏嘉モミタイ地へウツルあやノ云カケニタレハ
ハニテサヲリトモテ地へハタル

一、三指子時心口切着四五分

おんきふのトリのなをワタケイサス

ツバトヨウテラヒロサ

のトリトクイハイ

ふすやのの口アエチニワレ物ナシ

ツバニツニキニキ
ツバニツニキニキ
ツバニツニキニキ

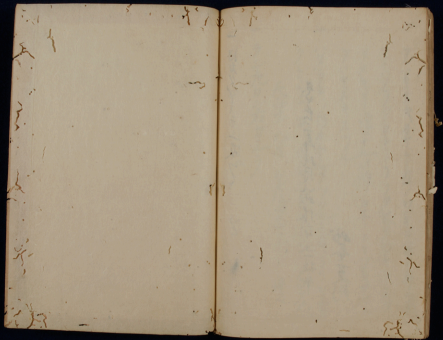
ツバニツニキニキ

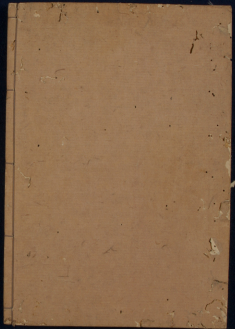
ツバニツニキニキ
ツバニツニキニキ
ツバニツニキニキ

一 カニカカ右 花目ノ初

一 ツバニツニキニキ

一 ツバニツニキニキ







龍口傳書

加
十
七

老子陰 之 語

玄之又玄 衆妙之門

之。依。此。齊。歌。集。音。疎。行。考。撰。ル。當。
後。水。尾。大。白。ノ。命。ヨリ。書。名。ノ。衆。妙。集。ト。ル。ハ。オ。リ。ナ。ク。

